※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「詳述　歴史総合」　（実教出版）						
副教材等	「詳述歴史総合　マイノート」（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

講義形式の授業を中心としながら、必要に応じて課題学習、協働学習を実施する。定期テストや確認テスト、日々の課題で知識・技能の定着を図る。資料や映像などを通し、協働学習や課題探究の時間を取り入れることで思考力・判断力・表現力を育む。また、協働学習や課題探究や日々の授業、長期休暇中の課題などで学習に向かう意欲や態度を評価する。

２　学習の到達目標

・近現代の歴史の変化にかかわる事柄について、世界とその中の日本という視野から理解し、諸資料を活用できる技能を習得する。
・近現代の歴史にかかわる事項について多面的・多角的に考察し、適切に判断し、表現することができる。
・よりよい社会の実現のために主体的に行動する態度を養い、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家・社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	近現代の世界や日本の歴史、日本と世界の関連を理解することができる。また、近現代についての様々な資料を収集し、活用することができる。	近代以降の世界や日本の歴史から現代の諸課題を見出し、文化の多様性・複合性や現代世界の特質を多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現することができる。	近現代の世界と日本の歴史に対して関心をもち、現代の諸課題に関して課題意識を高め、意欲的に取り組むことができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歴史の扉	歴史と私たち 歴史の特質と資料	a: 歴史と私たちの結びつきや歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c: 歴史と私たちの結びつきの考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
	近代化と私たち	近代化への胎動 欧米の市民革命と国民国家の形成	a:近代化する世界と日本に関する特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c:近代化する世界と日本に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
2学期	近代化と私たち	アジアの変容と日本の近代化 帝国主義の時代	a:日本と他国のかかわりなどに関する歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c: 日本と他国のかかわりなどに関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク
	国際秩序の変化や大衆化と私たち	第一次世界大戦と大衆社会 経済危機と第 2 次世界大戦	a:戦間期の世界や日本の歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c:戦間期の世界や日本に関する考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク

※令和４年度以降入学生用

3学期	グローバル化と私たち	冷戦と脱植民地化 多極化する世界 グローバル化と現代世界	a:現代の世界や日本の歴史の特質・資料について知識を身につけて、必要な諸資料を読解することができる。 b: 設定された主題について多面的多角的に考察している。 c:現代の世界や日本の考察や資料の読みときに意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 確認テスト	定期考査 ワークシート	ワークシート 振り返りワーク

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度